

2022 年度 4 月～12 月 決算報告

1. 損益の概況

【損益概況】

(単位：千円) 2022 年 12 月末日まで

(損益概況)		前年実績	予算金額	実績	前年比	予算比	事業高比
供給高合計	1	24,102,472	23,761,424	23,736,262	98.4%	99.8%	97.0%
供給剰余金合計		5,659,871	5,458,210	5,537,260	97.8%	101.4%	22.6%
その他事業収入	2	701,976	703,603	723,274	103.0%	102.7%	2.9%
総事業高 (総事業収入) 計	3	24,804,449	24,465,027	24,459,536	98.6%	99.9%	100.0%
事業総剰余金	4	6,361,848	6,161,813	6,260,535	98.4%	101.6%	25.5%
事業経費合計	5	5,639,292	5,895,419	5,786,724	102.6%	98.1%	23.6%
人件費	①	1,301,353	1,369,682	1,323,489	101.7%	96.6%	5.4%
物件費	②	2,806,531	3,006,283	2,949,689	105.1%	98.1%	12.0%
連合会分担費	③	1,531,407	1,519,454	1,513,545	98.8%	99.6%	6.1%
事業剰余金	6	722,555	266,393	473,810	65.5%	177.8%	1.9%
事業外損益合計		29,696	79,893	114,415	385.2%	143.2%	0.4%
経常剰余金	7	752,252	346,287	588,226	78.1%	169.8%	2.4%

供給高・総事業高

- 1 供給高は、前年比△3 億 6,621 万円、予算比△2,516 万円でした。
- 2 その他事業収入は、カタログに掲載されているチケット、サービス斡旋商品の手数料、共済事務手数料、パルシシステム手数料、葬祭事業斡旋手数料、電力手数料等で、前年比+2,129 万円、予算比+1,967 万円です。
- 3 総事業高は、前年比△3 億 4,491 万円、予算比△549 万円でした。
- 4 事業総剰余金（供給剰余金+その他事業収入）は、前年比△1 億 131 万円、予算比+9,872 万円となっています。物価上昇等の影響により、供給高は前年・予算とも下回って推移していますが、供給剰余金（供給高－仕入高）は前年は下回りましたが、予算は超過となりました。
そのため、事業総剰余金も、前年は下回りましたが、予算は超過となりました。
なお、供給日数は、前年度 197 日、当年度 196 日と前年よりも 1 日少なくなっています。

事業経費合計

- 5 事業経費全体は、前年比+1 億 4,743 万円で、予算比△1 億 869 万円となっています。
人件費の未執行や供給高に連動する委託運搬費・分担費の減少はありますが、物流資材や燃料・電気の価格上昇により予算を超過しているものもあります。
全体では前年は超過していますが、予算は下回る執行となっています。
 - ① 人件費・・・前年比+ 2,213 万円、予算比△4,619 万円
 - ② 物件費・・・前年比+1 億 4,315 万円、予算比△5,659 万円
 - ③ 分担費・・・前年比△ 1,786 万円、予算比△ 590 万円
- ※分担費は、県内の組織率（組合員数÷世帯数）を元に係数を決定し、供給高にこの係数を乗じて決定します。上期の供給高が前年・予算を下回ったため、分担費も減少しました。

事業剰余金・経常剰余金

- 6 事業剰余金は、前年比△2 億 4,874 万円、予算比+2 億 741 万円でした。
- 7 経常剰余金は、前年比△1 億 6,402 万円、予算比+2 億 4,193 万円でした。

2. 貸借の概況

【貸借概況】

(単位：千円) 2022 年 12 月末現在

(単位：千円)

勘定科目		金額	構成比	前年比	勘定科目		金額	構成比	前年比
流動資産	1	14,793,836	67.5%	100.6%	流動負債	4	5,794,513	26.4%	99.8%
現預金		8,331,498	38.0%	99.8%	買掛金		2,737,810	12.4%	99.1%
供給未収金		3,062,557	13.9%	101.8%	その他流動負債		3,056,703	13.9%	100.4%
その他流動資産		3,399,780	15.5%	101.6%	固定負債	5	635,607	2.9%	104.6%
固定資産		7,117,695	32.4%	110.5%	純資産合計	6	15,481,411	70.6%	105.1%
有形固定資産	2	2,133,424	9.7%	97.5%	組合員出資金	7	9,259,556	42.2%	104.8%
無形固定資産		1,438	0.0%	78.3%	法定準備金・積立金		5,568,693	25.4%	110.3%
その他固定資産	3	4,982,832	22.7%	117.1%	当期末処分剰余金		653,161	2.9%	77.5%
					(うち当期剰余金)		587,444	2.6%	78.1%
資産合計		21,911,532	100.0%	103.6%	負債・純資産合計		21,911,532	100.0%	103.6%

総資本に対する自己資本の比率 70.6%

資本構成の安全性を表す指標
50%以上は安全とされています

12 月末現在の当組合の財産状況です。

- 1 主な流動資産は、普通預金や定期預金と、利用代金（翌月引落分）の供給未収金です。事業活動による剰余金と増資等により増加しています。
- 2 有形固定資産は、草加センター、川越センターの空調機器工事（722 万円）や、大宮センター、三芳センターの電気設備工事（142 万円）、川越センター蓄冷洗浄機交換工事（447 万円）、大宮センターLED 工事（20 万円）等の増加はありましたが、老朽化した資産、草加センター空調設備・川越センター蓄冷剤洗浄機（簿価 78 万円）の除却や償却により年度当初から 4,336 万円減少しました。
- 3 その他固定資産は、パルシステム連合会への増資（1 億 3,810 万円）と長期預金（5 億円・10 月実施）、地方債（埼玉県債 1 億円・12 月実施）が増加しました。
- 4 流動負債は短期 1 年以内で返済予定のものを計上しており、主な流動負債はパルシステム連合会への商品代金（買掛金）、その他の経費支払い分です。
- 5 固定負債の主なものは、役職員が将来退職時に備えるための退職給与の引当分です。
- 6 純資産は 154 億 8,141 万円となり、前年同月と比較すると 7 億 5,553 万円増加しています。
- 7 組合員出資金は、92 億 5,955 万円となり、前年同月より 4 億 2,458 万円の増加となりました。

3. 組織動態

12 月までの新規加入組合員は 17,978 人、脱退組合員は 13,911 人、純増数は 4,067 人でした。引き続き感染拡大防止に努めながら、組合員拡大を進めます。

4. 12 月までの傾向と年度末に向けて

今年度は、組合員数は増加していますが、行動規制の緩和や物価の上昇により、利用人数や一人当たりの利用金額は昨年を下回り、供給高・総事業高は僅かに予算を割っての進捗となりました。特に上期（4 月～9 月）は厳しい供給状況となりましたが、10 月～12 月の供給はほぼ前年並み、予算を超過しての推移となっています。

また、人件費の未執行と、供給高に連動する費用（委託運搬費や分担費等）の減少により、経常剰余は予算を超えて確保しています。年度末に向け、更なる物価上昇が予測されますが、状況に応じた感染対策を取りながら組合員活動・商品の利用普及・組合員拡大を進めて行きます。また、効率的な経費執行を心がけ、安定した経営に努めます。

以上